

宇宙への夢と品質 信頼性向上への道 IN 東大阪

入場無料

ただし、交流会費 ¥1,000
(昼食代)が別途がかかります



まいど1号
(CG画像)

月日 平成16年 **9月16日** (木)

場所 **クリエイターズ プラザ**
(クリエイション・コア東大阪)
地下鉄中央線・近鉄東大阪線 荒本駅 徒歩5分

主催 **独立行政法人 宇宙航空研究開発機構**
安全信頼性管理部・産学官連携部

後援 **大阪商工会議所**
(財)大阪科学技術センター

- 10:30~10:40 **開会挨拶**
安全・信頼性管理部 部長 長谷川 秀夫
- 10:40~11:10 **環境観測技術衛星「みどりII」の開発に学ぶ**
ADEOS-IIプロジェクトマネージャ 黒崎 忠明
- 11:10~11:50 **宇宙を産業に!“見上げる宇宙から使う宇宙へ”**
—— オープンラボ制度 ——
産学官連携部 連携推進グループ長 小林 智之
- 11:50~13:30 **交流会 (昼食) ビデオ上映**
- 13:30~14:30 **講演**
未来を拓くQSD:品質安定化設計手法
松下電器産業(株) 生産革新本部
生産プロセス革新センター 主幹技師 甲斐野 真次
- 14:30~15:00 **講演**
マイド! まいど1号(SOHLA-1)の近況です!!
東大阪宇宙開発協同組合(SOHLA) 理事 今村 博昭
- 15:00~15:10 **休憩**
- 15:10~15:55 **第6感を研ぎ澄まそう!**
一問題の予測と解決のために—
信頼性推進評価室 主任・招聘開発部員 福岡 勝
- 15:55~16:25 **これからの宇宙の信頼性**
執行役 佐木 誠夫 (信頼性統括)

参加登録は裏面の申込書をファックスしてください。
またはホームページ <http://www.prime-intl.co.jp/spacequality/> から登録できます。



H-IIA ロケット

平成16年度 宇宙開発品質保証シンポジウム

宇宙への夢と品質

信頼性向上への道 IN 東大阪

開会挨拶 10:30~
安全・信頼性管理部 部長 長谷川 秀夫

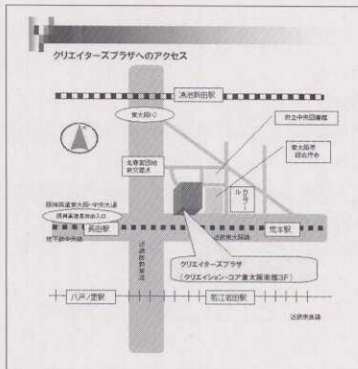
環境観測技術衛星「みどりII」の開発に学ぶ 10:40~
ADEOS-IIプロジェクトマネージャ 黒崎 忠明

2002年12月14日打上げた「みどりII」は約10ヶ月後の2003年10月25日、とつぜん電力がほとんどなくなり、運用停止をせざるをえませんでした。この故障解析から、学んだ新しい知見を、人工衛星開発にいかにかに反映するかについて、衛星開発を実施したプロジェクトマネージャの立場から述べる。

宇宙を産業に!“見上げる宇宙から使う宇宙へ” 11:10~
オープンラボ制度
産学官連携部 連携推進グループ長 小林 智之

平成15年10月1日に新たに発足した宇宙航空研究開発機構は、同時に産学官連携部を新設して、我が国の宇宙開発利用に係る産業競争力の強化、宇宙利用の拡大、及び研究開発成果の活用促進を柱に我が国の民間企業活動が宇宙開発利用を通じて新しい事業の展開が図られる様に、その活動の緒についたところである。本講演ではこれらの取り組みを概括し、我が国の宇宙開発利用が直面する課題を踏まえた今後の展開について述べる。

交流会(昼食) ビデオ上映 11:50~13:30



電車をご利用の場合
○地下鉄中央線長田駅
3番出口から北東に徒歩10分
○近鉄東大阪線荒本駅
1番出口から北西に徒歩5分

車をご利用の場合
○国道308号沿い
東大阪JCTすぐそば

講演:未来を拓くQSD:品質安定化設計手法 13:30~
松下電器産業(株) 生産革新本部 生産プロセス革新センター
主幹技師 甲斐野 真次

開発・モノづくりスピード最速へ!
松下では、商品化QCDを同時解決する最適化実験技法としてQSD(品質安定化設計手法)を開発。「QSD実践スクール」を松下国内外で展開し多くの技術・経営成果を上げています。直面する技術問題をスピード解決し、QSDは開発・モノづくりの最前線に立つ技術者に「武器と勇気」を与え続けています。今回紹介させて頂くQSDが宇宙に夢みる技術者の方々にも少しでも参考になれば幸いです。

講演:マイド!まいど1号(SOHLA-1)の近況です!! 14:30~
東大阪宇宙開発協同組合(SOHLA) 理事 今村 博昭

中小企業が集まる“モノづくりのまち”として知られる東大阪市。「まいど1号」は、東大阪市内に拠点を持つ職人集団・東大阪宇宙開発協同組合(Astro-Technology SOHLA)に関わる技術者、専門家、学生、みんなの力で開発する小型人工衛星です。今、経済不況と後継者不足という厳しい環境の中で、SOHLAは中小企業には手が届かないと思われていた宇宙産業に乗り出そうとしています。町工場のおっちゃんたちが、2005年度に人工衛星を打上げようとする夢に挑戦しています。その近況をお話します!

休憩 15:00~15:10

第6感を研ぎ澄まそう! -問題の予測と解決のために- 15:10~
信頼性推進評価室 主任・招聘開発部員 福岡 勝

1. 共通的な失敗の要因からの反省点を明確にし仕事力の強化をはかるための方策の1つを述べる。
2. 仕事力を7つに分析し、それぞれにつきどのように取り組むかを解説する。
3. そして、仕事力を強化するベースとなる人間力として第6感(=勘)を取り上げ、これを養成するためには「観」「看」「鑑」「関」「感」を順次強化し最終的に「勘」がつつかわれ人間力の基本である「眼力」が強化されることを詳細に説明する。

これからの宇宙の信頼性 15:55~
執行役 佐木 誠夫 (信頼性統括)

日本の宇宙開発はADEOS-IIの運用停止、H-IIAロケット6号機の失敗、「のぞみ」の火星軌道への投入断念と、重大な不具合が続いた。JAXAでは、この状況を打破するために、理事長を本部長とする信頼性改革本部を設置し、ロケット、衛星の信頼性向上に取り組み始めた。JAXAの信頼性向上の活動を紹介します。

閉会 16:25



参加申込み書

フリガナ
氏名 _____

フリガナ
所属先 _____ 役職 _____

所属先住所 _____

TEL. _____ FAX. _____

E-MAIL _____

複数お申し込みの場合はコピーの上、おひとりづつお申し込みください。

FAX. 03-5467-5538